

# トロント日系福音教会信仰信条

## 前文

下記のトロント日系福音教会信仰信条は、おもにウエストミンスター信仰告白を参照し、用語と聖句引用上、簡略を旨とした。折りをもって、この信条は読み、信じ、実践されねばならない。

## 第一項 聖書の靈感について

1. 我等は、聖書全体は、神の靈感によるものと信ずる。

II テモテ 3:16.

2. 我等は、聖霊が記者を選び、感動させ、聖書を書かせた、と信ずる。聖書は、神によって靈感された文書である。

II ペテロ 1:20-21, II コリント 2:12-13.

3. 我等は、聖書がキリスト者生活の信仰と実践の全領域での権威であることを信ずる。II テモテ 3:16-17, ヘブル 4:12.

## 第二項 真の神のご性質について

1. 我等は、神は唯一、全能、永遠であり、最も聖く、しかも最も愛に満ちた方である、と信ずる。

申命記 6:4、創世記 17:1、詩篇 90:2、イザヤ 6:3、I ヨハネ 4:8-10.

2. 我等は、真の神は唯一にして、父なる神、子なる神、聖霊なる神の三位の神であり、その存在・本質・力・栄光の上で等しい（一体）、と信ずる。

マタイ 3:16-17、マタイ 28:18-20、II コリント 13:14

3. 我等は、父なる神は永遠にいますこと、み子は永遠にみ父から生まれること、聖霊は、永遠にみ父とみ子から出ることを信ずる。

ヨハネ 14:18、ヨハネ 14:26、ヨハネ 15:26、黙示録 4:8、黙示録 21:5-6

4. 我等は、神のみ子とは、我等の主であり救い主なる、イエス・キリストであることを信ずる。

ヨハネ 1:1、ヨハネ 3:17、ヘブル 1:3

また、主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれたこと、

マタイ 1:18-23、イザヤ 7:14

十字架につけられて死なれたこと、

I コリント 15:3、ピリピ 2:8

死人のなかからよみがえられたこと、

マタイ 28:5-7、使徒 26:23、I コリント 15:4

み父の右に着座されたこと、

使徒 2:33、ロマ 8:34、ヘブル 7:24-25

再来されることを信ずる。

ヨハネ 14:3、使徒 1:11、ヘブル 9:28

5. a) 我等は、ペンテコステ（五旬節）における聖霊のバプテスマは、教会創立のための歴史的出来事であったことを信ずる。

使徒 2:1-4、使徒 1:8、使徒 1:4-5

b) 我等は、聖霊は救いの時点で信者に内在すること、また聖霊は主イエス・キリストと聖書の真理を示すことにより、（信者を）新生させることを信ずる。

ヨハネ 3:5-6、ロマ 8:9-16、ヨハネ 16:13-15

c) 我等は、聖霊に満たされることは、信者の特権であるとともに、義務であること、それはまた、信者を特別な奉仕に力づけるために、しばしば起こりうることを信ずる。

エペソ 5:18、使徒 6:3、ルカ 1:67、使徒 13:52、使徒 13:9

d) 我等は、御霊の賜物は、聖霊（の主権）により、キリストのからだ（教会）の伸展と完成のために、付与・行使されることを信ずる。

I コリント 12:4-11

e) 我等は、聖霊は、服従を通して信者を力づけることを信ずる。それによって信者は、神の栄光のため、善き業を証し、人間的不完全さにもかかわらず、あがないの日まで堅忍する。

ロマ 8:26-27、I コリント 2:4、エペソ 1:13-14、ガラテヤ 5:22-25

### 第三項 人間の墮落と救いの必要について

1. 我等は、初めの人アダムは、罪なく、神のかたちに、自由意志をもつものとして創造されたこと、しかし、誘惑に会い、神の戒めに背き、罪を犯したことを信ずる。

創世記 1:26-27、創世記 2:16-17、創世記 3:1-24、伝道者の書 7:29

2. 我等は、この原罪が、アダムとエバばかりか、続く全人類を冒し、人は神の法律に従って有罪とされ、肉体および霊的死に服させられたこと、それゆえ救いに与かる必要があることを信ずる。

創世記 3:19、詩篇 51:5、ロマ 5:12-19、ロマ 8:7-8、エペソ 2:1-3

## 第四項 恵みによる救いについて

### A. 救い主について。

1. 我等は、主イエス・キリストは、おとめマリヤより生まれ、罪がなく、十字架につけられて、罪のため、唯一の犠牲の身代わりとして死なれたこと、そして、聖書に従い、我等が義とされるためによみがえられたことを信ずる。

マタイ 1:21-23、II コリント 5:21、ヘブル 9:14、ロマ 4:22-25、I ペテロ 3:18

2. 我等は、人は恵みによってのみ、主イエス・キリストを救い主として、自ら信じ受け入れて救われることを信ずる。

エペソ 2:8-9、ロマ 5:1-2、ロマ 10:8-17

### B. 教会について。

1. 我等は、真の教会は、見えない教会であり、そのかしらなるキリストのもとに世々を通してひとつに集められる信者全員からなることを信ずる。

コロサイ 1:18、エペソ 1:10、22-23、エペソ 5:23-32、ヘブル 12:22-24.

2. 我等は、真の教会の見えるかたちは、新約の教会、すなわち、愛のうちに結び合わされ、キリストのみ名によって交わり、礼拝を捧げる地域教会の集いであることを信ずる。

I コリント 1:2、エペソ 4:11-16、ヘブル 10:22-25

3. 我等は、キリストは、ふたたび来られるまで、みからだなる教会の完成のため、教会に福音宣教、水の洗礼と主の晩餐の礼典執行、神のみ言葉の教論、弟子づくりの業を与えられた、と信ずる。

I コリント 12:12-28、II コリント 13:5-11、I コリント 11:23-32

マタイ 28:18-20、使徒 2:42

### C. 主の最臨について。

1. 我等は、我等の主イエス・キリストの、人格的・可視的・栄光ある再臨は、教会にとり祝福された望み、すなわち、信者の救いの最終的完成の時であることを信ずる。

使徒 1:11、黙示録 1:7、マルコ 13:26、ヨハネ 5:21-29、ヘブル 9:28、テトス 2:11-13

### 第五項 人間の永遠のありさまについて

我等は、人間の永遠のありさまは、死において決せられる、と信ずる。キリストを持たずに死ぬ、生まれながらの人は、その死後、裁きに会い、永遠の刑罰に引き渡されるのを待つ。キリストを信ずる者は、霊・魂・体すべてにわたる不死を経験するよみがえりの日を待ち望み、永遠の至福に入る。

ヘブル 9:27、伝道者の書 12:7、マタイ 25:31-46、黙示録 20:11-15、ヨハネ 5:28-29、使徒 24:15、I コリント 15:51-52